

田原中学校

田原小学校

田原西小学校

田原地域学校園 図書だより

# たわらの 輪☆和☆話



令和6年

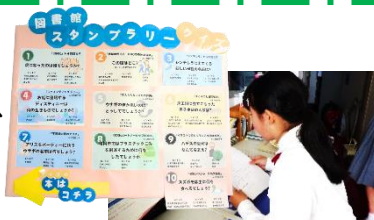
12月18日発行

たわらちゅうがっこう

## 【田原中学校】

11月の1か月間を読書月間として、お話 給食の動画放送、図書館スタンプラリーや、しおりコンクール、本の読み聞かせを行いました。スタンプラリーでは、図書委員が考えたクイズを掲示して、正解者にスタンプを押しました。

しおりコンクールには、とくに参加者が集まり、本の世界を連想させる素敵なイラストを描いてくれました。



たわらしょうがっこう

## 【田原小学校】

10月21日から11月1日の読書週間では、借りた本の分類番号をそろえる“分類ビンゴ”や図書クジ、図書委員や先生たちによる読み聞かせなどを行いました。

読書週間にたくさん本を借りてくれた児童には、図書委員から賞状とメダルが贈られました。

### ☆読み聞かせ☆



### ☆分類ビンゴ☆



たわらにししょうがっこう

## 【田原西小学校】

10月28日から11月8日の2週間が読書週間でした。図書委員さんが給食の時間に先生方の好きな本を放送で紹介したり、本を借りるともらえるシールでオリジナルのしおりを作ったりしました。

お話 給食も、教室でとても盛り上がりがあったそうです。



田原地域学校園では、毎年10・11月を読書週間や読書月間と位置づけ、本にまつわる様々な取組を行っています。今回は、各校における今年の読書週間の様子をお伝えしていきます。



がっこうえん  
学校園おはなし給食

きゅうしょく  
給食



11/22(金) 田原中学校

『給食室のいちにち』

(大塚 菜生:著 イシヤマ アズサ:イラスト少年写真新聞社)

～献立～

カレーライス

手作りフルーツゼリー



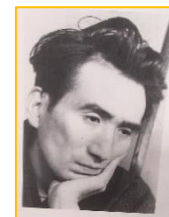
給食の時間に、図書委員出演の本の紹介動画を流しました。

10/28(月) 田原西小学校

『太宰治 青森の郷土料理』

～献立～

せんべい汁



太宰治についての紹介動画を流しました。小学生には少し難しいかと思いましたが、『走れメロス』の絵本を手にとってくれる児童が多かったです。

10/24(木) 田原小学校

『ふしぎの国のアリス』

(ルイス・キャロル:作 偕成社)

～献立～

・アリスのたつぷりきのこミートソース  
・ゆでやさい



ゆでやさいには、物語のトランプの兵隊を連想させるにんじんが入っていました。

きのこを食べたら、アリスみたいに大きくなったり小さくなったりしなかったかな？

# どくしょ 読書カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		<b>12/24 給食記念日</b> いつも給食をたくさん残して、遊びに行く番長。「嫌いなものは残して、さっさと遊びに行くぜ!」そんなことしていたら、どうなるでしょう…? 『給食番長』よしなが こうたく : 作 好学社	<b>25 クリスマス</b> 魔法学校に入学したハリー。ともだちと初めて過ごした、あたたかで幸せなクリスマスの思い出が、たくさん詰まった本です。 『ハリー・ポッター ホグワーツのクリスマス』J.K. ロリング : 著 ガオ・ツイ : イラスト 松岡 浩子 : 翻訳 静山社	<b>26 プロ野球誕生</b> 部員は9人以下。グラウンドは雑草だらけで部員は無気力。そんな高校の野球部が、どうして甲子園に? 読んだらきっと心が熱くなります。 『下町上球児』菊地 高弘 : 著 カンゼン	<b>27 ダーウィン世界一周ハダーウィン</b> といえは「進化論」の発見。生き物は海から生まれて進化したそうですが、現代の海にはどんな生き物がいるのでしょうか? 『妖怪は海にいます!? アラマタ式海の博物教室』荒俣 宏 : 著 偕成社	<b>28 堀辰雄 誕生日</b> 宮崎駿監督の『風立ちぬ』の原作にもなりました。はかなく過ぎる季節の描写が美しく、生きることの尊さがわかる物語です。 『ちくま日本文学039』より「風立ちぬ」堀 辰雄 : 著 筑摩書房
<b>29 福の日</b> 年末ということに加え、「29(ふく)」という語呂合わせから、12月29日はお正月の準備をするための縁起の良い特別な日として位置づけられています。 『おふくさん』服部 美法 : 文・絵 大日本図書	<b>30 星新一の命日</b> SF作家・星新一さんは、1997年12月30日に71歳で亡くなりました。生前超短編小説を1000篇以上も生み出し「ショートショート」の神様」と言われています。 『宇宙の声』星 新一 : 作 KADOKAWA	<b>31 大晦日</b> 今日は大晦日。みいちゃんはお正月の準備に大忙しです。大掃除や餅つきなど、年末年始の行事や習わしがよくわかる絵本です。 『あけましてのこあいさつ』すとう あさえ : 文 ほるぷ出版	<b>1/1 元旦</b> 2025年の干支はへびです。ところで、干支ってそもそもなんでしょう? この本には、干支の昔話や故事・ことわざ、ちょっぴりヒミツのお話ものっています。 『もっと知りたい! 十二支のひみつ』大高 成光 : 作 小学館	<b>2 初夢</b> 1月2日に見る初夢を誰にも話さずにいられれば、夢が本当のことになるといわれています。みなさんは一体どんな初夢を見るでしょうか? 『はつゆめはひみつ』ひみつ : 作 谷 貴介 : 作 佼成出版社	<b>3 アップル・コンピュータ設立</b> スマホをはじめとして、今や世界中で知られているアップル・コンピュータは、1977年のこの日に設立されました。 『世界の伝記 スティーブ・ジョブズ』林信行 : 監修 学研	<b>4 ヤーコブ・グリム誕生日</b> グリム兄弟、実は9人もいたそうですが、「グリム童話」を編集したのは次男のヤーコブと三男のヴィルヘルムだそうです。 『講談社のおはなし絵本館13 赤ずきん・ヘンゼルとグレーテル』ささきたつこ : 文 講談社
<b>5 小寒</b> 小寒の初日を「寒の入り」といいます。このころからどんどん冷え込みが厳しくなってくるのですね。 『絵本で知ろう 二十四節気 寒』ふじもとみさと : 文 文研出版	<b>6 森見登美彦誕生日</b> 多くの作品が京都を舞台にしています。独特の世界観を描いていて、読み始めると引き込まれてしまいます。マンガ化アニメ化されている作品も多いです。 『ペンギン・ハイウェイ』森見登美彦 : 作 角川書店	<b>7 森山京命日</b> 国語の教科書でおなじみの「おとうとねずみ千ロ」を書いた森山京さん。2018年に亡くなりました。他にもたくさんの童話を書いています。 『おとうとねずみ千ロのはなし』森山京 : 作 講談社	年末年始にかけて日本にはたくさんの伝統行事や習慣、記念日があります。今年もそんな特別な日に読みたくなるような本を、日付ごとに紹介します。図書室でも借りることができるので、ぜひ冬休みに読んでみてください。			